



# らくらくウォーカー

**DX**  
デラックス

## 取扱説明書

(保証書付)

この説明書をよくお読みになり十分理解されてから、らくらくウォーカーをお使いください。  
この説明書はいつでも出して見ることができるよう大切に保管してください。



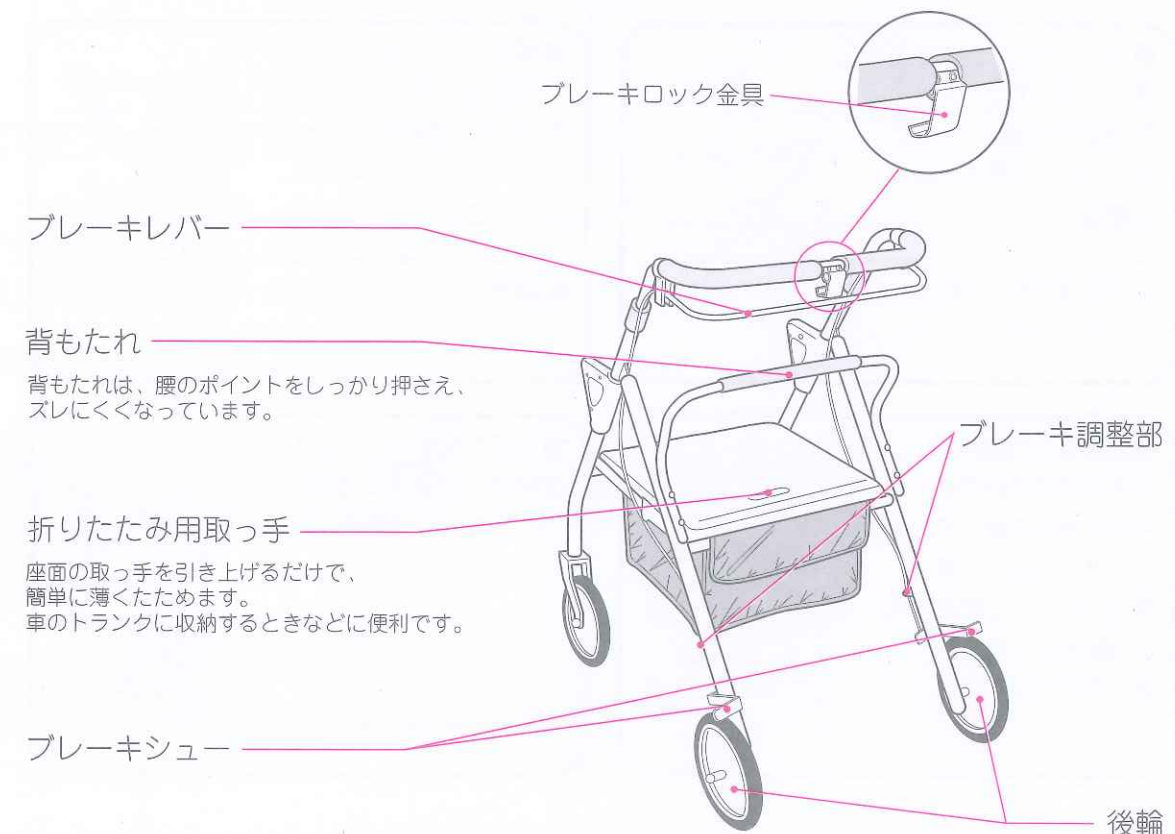
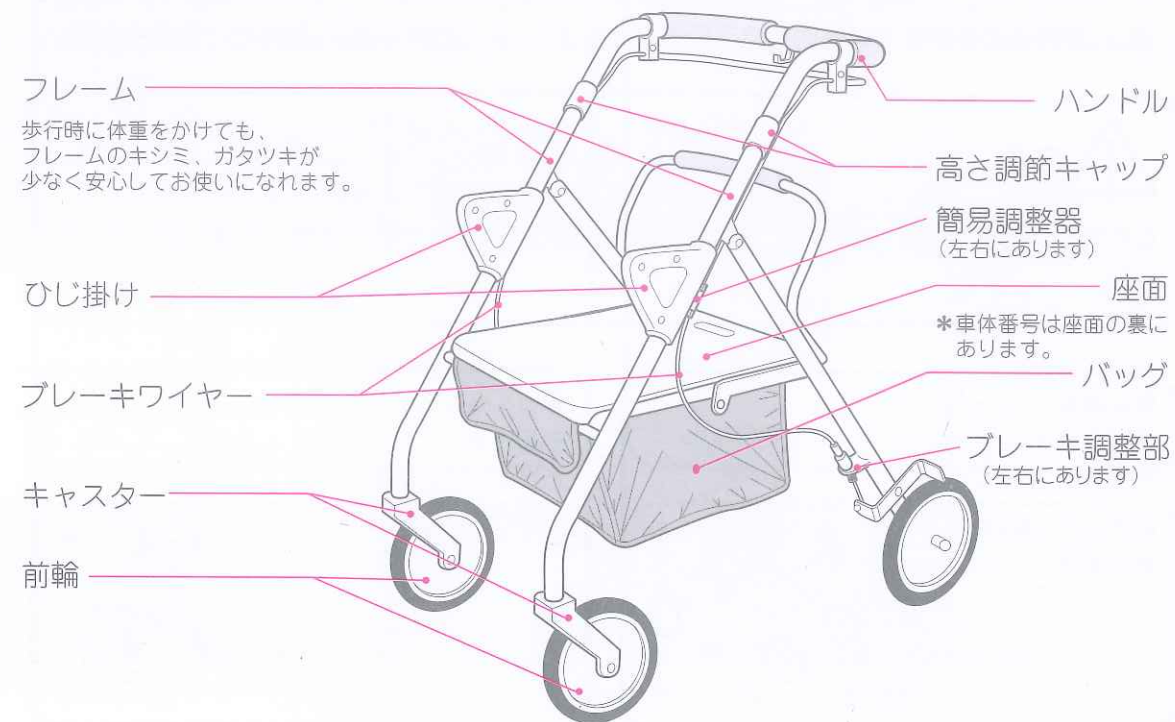
# 目次

各部の名称	3
使用上のご注意	4
⚠ 警告	4
⚠ 注意	6
お使いになる前に	8
1. 箱からの取り出し方	8
2. 開き方	8
3. ハンドルの高さ調節の方法	9
4. ブレーキ・ブレーキロックの点検・調整方法	10
ご使用方法	11
1. ご使用前の点検	11
2. ブレーキのかけ方	11
3. ブレーキロックの方法	11
4. 座面への腰掛け方	12
5. 折りたたみ方	12
6. 開き防止バンドの使い方	13
7. バッグの使い方	13
8. バッグのとりはずし方	14
9. 日常のお手入れの仕方	14
アフターサービス	15
主な仕様	15
保証書	16

## ⚠ ご使用前のご注意

この製品は自立歩行が可能なおとなのための外出用歩行補助車です。  
 自立歩行が出来ない方(例: 手すり等につかまらなければ歩行できない人等)の使用には適しません。  
 組み立て及び調整は確実に行ってください。  
 使用前にネジ類のゆるみ、部品の破損、および作動不良がないか確認してください。  
 また車体の破損や異常を発見した場合はただちに使用を中止し、販売店またはピジョン(株)までご連絡ください。  
 ピジョン(株) お客様相談室 TEL 03(5645)1188 受付時間 9時~17時(土・日・祝日を除く)

# 各部の名称





# 使用上のご注意

製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意があります。ここに記載した内容を無視した場合、使用者の方が重大な傷害を被る恐れがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。



警告

取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。このような使い方はしないでください。

●乳母車・ベビーカーではありません。赤ちゃんや子供は乗せないでください。転倒する恐れがあります。



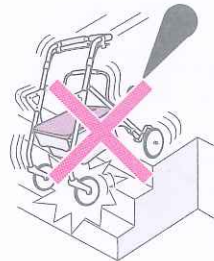
●らくらくウォーカーの座面の上には立たないでください。転倒する恐れがあり非常に危険です。



●らくらくウォーカーは一人用です。二人以上同時に座らないでください。転倒や事故・破損の原因になります。



●階段・エスカレーターでは使用しないでください。また、段差のあるところでの使用は十分注意してください。折りたたまる場合があります。また、転倒する恐れがあり危険です。



●坂道などの傾斜のあるところでの使用は十分に注意してください。また、腰掛けないでください。転倒する恐れがあり危険です。



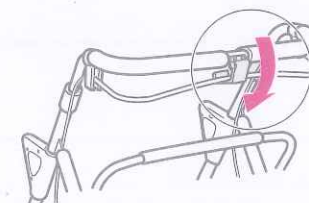
●踏切を横断するときは線路にご注意ください。車輪がはさまることがあります。



●車いすではありません。人を乗せたまま押さないでください。転倒や事故・破損の原因になります。



●座るまえには必ずブレーキロックをしてください。車体が動いて転倒する恐れがあります。また、動かしていないときは必ずブレーキロックをしてください。



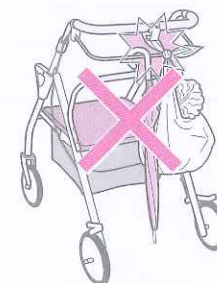
●ひじ掛けに腰掛けたり、両手をついたりするなど体重をかけないでください。不安定になり、転倒する恐れがあり危険です。



●冬場の雨や雪の日など、路面が凍結しやすいところでは使用しないでください。また、デコボコみちなど路面の悪いところでは、押しにくくなる場合がありますのでご注意ください。段差や障害物を乗り越えるとき、むりな力を加えると折りたたまる場合があります。また、転倒する恐れがあり危険です。



●ブレーキレバーとブレーキロック金具に荷物などをぶら下げないでください。転倒や事故・破損の原因になります。



●らくらくウォーカーの最大使用者体重は100kgです。それ以上の方はご使用にならないでください。



# 使用上のご注意 (つづき)



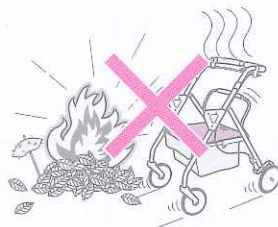
注意

取り扱いを誤ると、傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。ご使用のさいにはご注意ください。

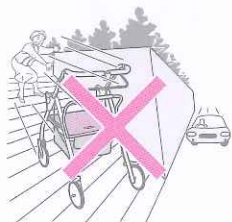
●お使いになる前にブレーキ及びブレーキロックのきき具合を確認してください。(ブレーキ・ブレーキロックの調整方法を参照してください。)



●火のそばや高温になるところでの放置、保管はしないでください。火事の原因となったり、故障の原因になる恐れがあります。



●坂道の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



●座面に雨や液体をこぼすと折りたたみ用取っ手からバッグの中に流れ込みますのでご注意ください。

●混雑する場所では、自動車、自転車、人などに十分注意してください。事故の原因になったり、転倒したりする恐れがあります。



●夜間のご使用のさいは十分ご注意ください。路面の状況がよくみえないので危険です。



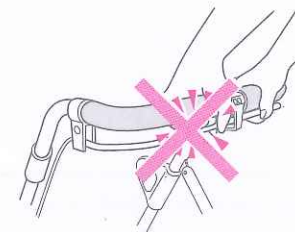
●雨ざらしにしないでください。また、雨の日のご使用はさけてください。バッグの中に水が入ったり、金属部分がさびて故障の原因になります。



●バッグには10kg以上の荷物は乗せないでください。また、バッグに荷物を投げ入れないでください。破損する原因になります。



●ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキをかけないでください。指をはさむ恐れがあり危険です。



●ブレーキシューに足などをかけないでください。ブレーキがききずらくなり危険です。



●ブレーキロックをした状態で押さないでください。タイヤが著しく摩耗する恐れがあります。



●防サビ・潤滑剤は使用しないでください。プラスチック部品などを劣化させる恐れがあります。



●タイヤの減り具合やブレーキのきき具合は日頃から点検し、必要に応じて調整・修理を依頼してください。そのまま、放置してのご使用は非常に危険ですのでおやめください。

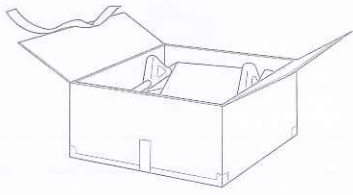
●分解・改造はしないでください。故障の原因となるだけでなく、ケガをする恐れがあります。



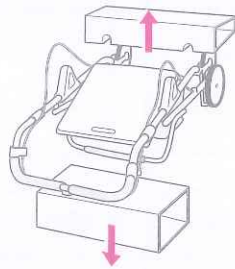
# お使いになる前に

## 1. 箱からの取り出し方

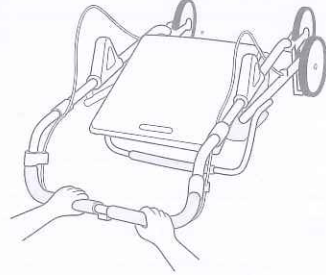
1 テープをはがしフタを開きます。



2 パッキンをはずしポリ袋から取り出します。

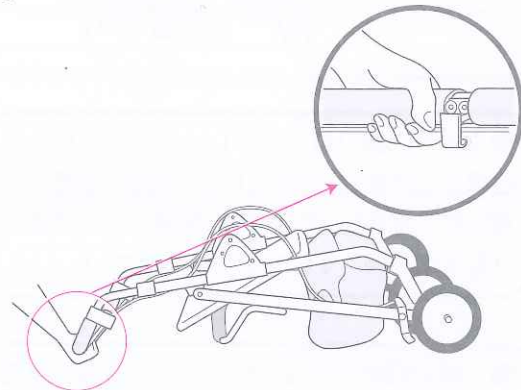


3 図のような状態で地面においてください。

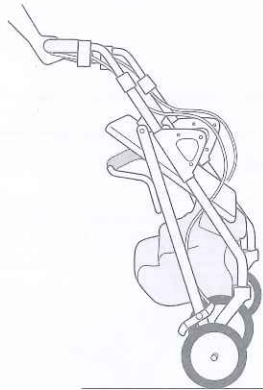


## 2. 開き方

1 ハンドルとブレーキレバーを握ります。



2 ハンドルとブレーキレバーを握ったまま本体を引き起こします。



3 前輪を地面から上げてハンドルを軽く上から押します。



4 図のように座面が水平になったらブレーキレバーを離します。

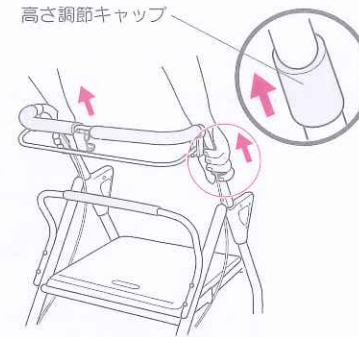


## 3. ハンドルの高さ調節の方法

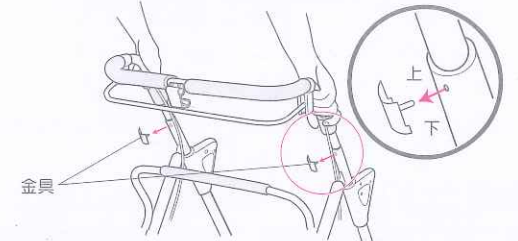
● ハンドルの高さは6段階に調節できます。ご自分の背たけに合わせて調節してください。

⚠ ハンドルの高さ調節は6段階の穴に合わせて行ってください。穴位置以外ではハンドルがしっかり固定できず非常に危険ですので、絶対におやめください。

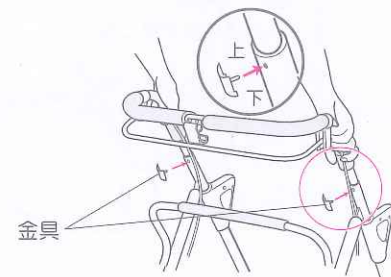
1 左右の高さ調節キャップを引き上げます。



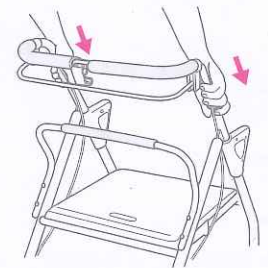
2 左右の金具を取り外すと、ハンドルが上下に動きます。背たけに合わせてハンドルの高さを調節します。(6段階に調節可能)ハンドルは引き上げすぎると抜けますので注意してください。



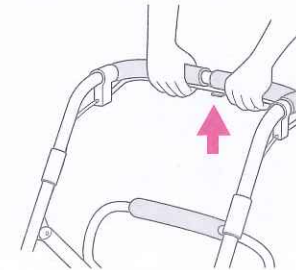
3 高さ調節がすんだら、取り外した金具を穴位置に合わせて、再度差し込みます。



4 高さ調節キャップを下げた元の位置にもどします。ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。



5 高さ調節後はブレーキのきき具合、ブレーキロックのきき具合を確認します。きき具合が悪いときは調整してください。(ブレーキ・ブレーキロックの点検・調整方法をごらんください。)



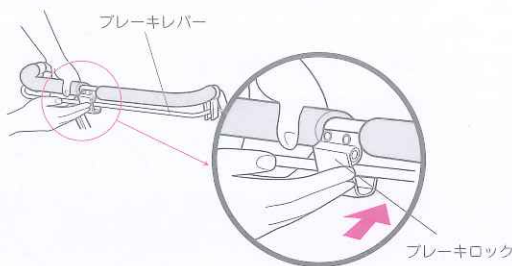


## 4. ブレーキ・ブレーキロックの点検・調整方法

●ブレーキの調整には工具が必要ですので販売店にご相談ください。ブレーキの調整後はきき具合を必ず確認の上、ご使用ください。

### 【点検方法】

1 ブレーキレバーをロックします。または、ブレーキレバーを握ります。



2 らくらくウォーカーを動かしてみてください。後輪がしっかりと止まっていれば正常です。回転するときはブレーキのききがあまくなっています。



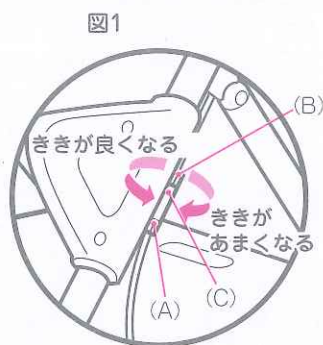
【調整方法】 ブレーキの調整方法は2通りあります。



### A. 簡易調整器による調整

通常はこちらの方法で簡単に調整できます。

1. 図1の(A)の部分で指で保持しながら、(B)の部分を中心に回すと、ききが良くなります。右に回すと、ききがあまくなります。(かたい場合は、スパナなどの工具を使用してください。)
2. 調整後、(C)のナットを手でしっかりしめます。



### B. ブレーキ調整部による調整

簡易調整器が、すでに一杯まで伸ばされている場合は、こちらの方法で調整してください。

1. ブレーキレバーのロックを外します。
2. スパナなどでナットをゆるめます。
3. 図2のように調整ネジを左に回すと、ききが良くなります。右に回すと、ききがあまくなります。(かたい場合は、工具を使用してください。)
4. 調整後、ナットをしっかりしめます。



(ご注意) ●ブレーキの調整後は、必ず上記の方法できき具合を点検の上、ご使用ください。●簡易調整器とブレーキ調整部は、それぞれ左右2ヶ所にあります。左右のブレーキが同じようにききよく調整してください。左右できき具合が違くと危険です。●上記の方法(A、B)で調整しきれない場合は、ブレーキワイヤーの張り具合を調整する必要がありますので、販売店にご相談ください。

## 1. ご使用前の点検

※ 毎回お使いになる前に、次のことを点検してください。不具合や異常があるままご使用になりますと、重大な事故につながる恐れがあります。

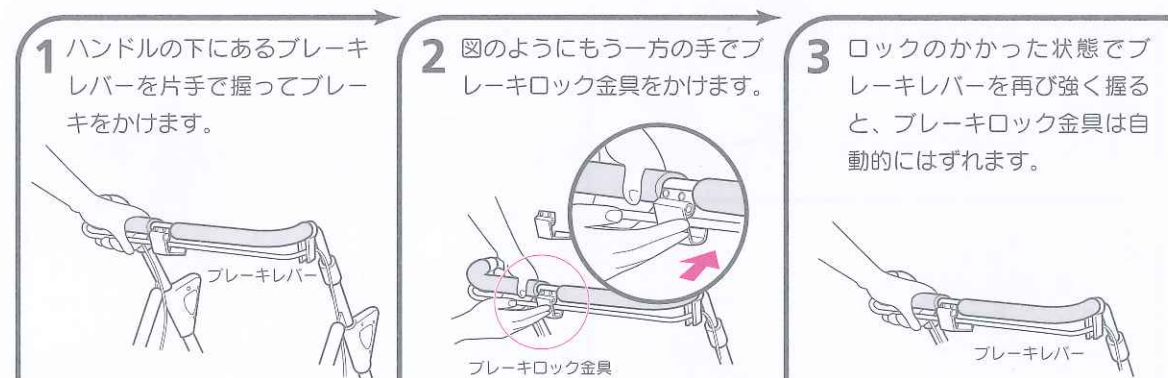
- ブレーキはききますか？  
(ブレーキ・ブレーキロックの点検・調整方法 10ページ参照)
- ブレーキロックはかかりますか？  
(ブレーキ・ブレーキロックの点検・調整方法 10ページ参照)
- タイヤはすり減っていませんか？また、回転は滑らかですか？
- ネジ止め、かしめ部分にゆるみはないですか？

## 2. ブレーキのかけ方



## 3. ブレーキロックの方法

●らくらくウォーカーから離れるとき・腰掛けるとき・荷物のおし入れのときなど必ずブレーキロックをしてください。

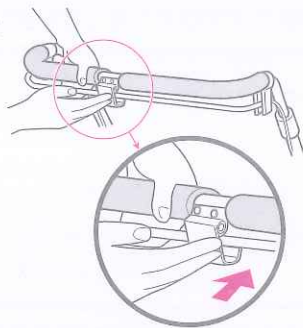




## 4. 座面への腰掛け方

- 必ずブレーキロックをかけて、らくらくウォーカーが動かないのを確認してから腰掛けてください。
- 腰掛けるときにひじ掛けに、ポケットや服などをひっかかないように注意してください。

1 ブレーキロックをかけます。



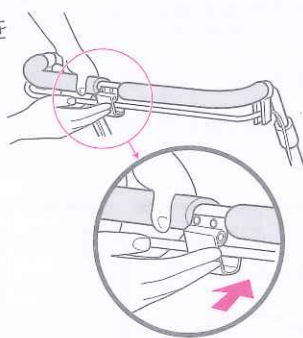
2 らくらくウォーカーが動かないように注意しながら座面に手をついて、静かに腰掛けます。



## 5. 折りたたみ方

- バッグの中に荷物が入っていると折りたためません。荷物を出してから折りたたんでください。
- 折りたたむときには、指などはさまないように注意してください。ケガをする恐れがあります。
- らくらくウォーカーは自立しませんので転倒に注意してください。また、立てかけておくと開いてしまう場合がありますので注意してください。
- ハンドルだけを持って移動しようとするとう開いてしまいますので注意してください。

1 ブレーキロックをかけます。



3 座面を一杯に持ち上げた状態で完了です。折りたたみ状態では、ロックされておりません。持ち運びのさいには座面の折りたたみ用取っ手を引いて移動してください。



2 指をはさまないように注意しながら座面の折りたたみ用取っ手を引き上げます。



## 6. 開き防止バンドの使い方

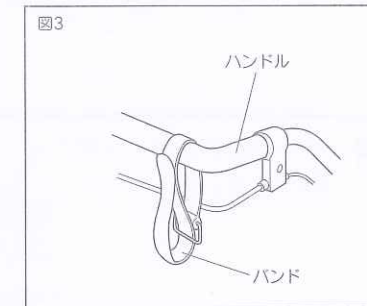
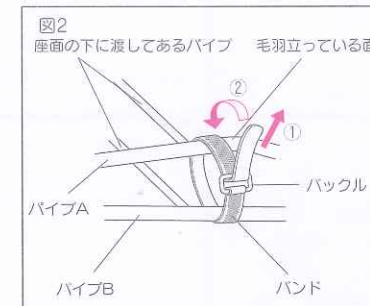
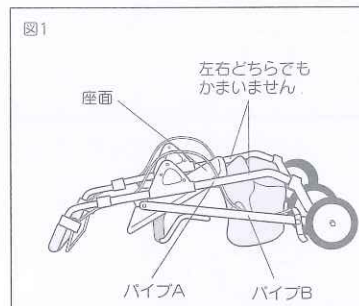
開き防止バンドは、らくらくウォーカーを折りたたんだ時に開くのを防ぐものです。取り付ける時は必ず図1のように横に倒した状態で取り付けてください。

### ●取り付け方法

図1、2のように太いパイプA・Bに開き防止バンドを取り付けます。(座面の下のパイプのすぐ下にベルトを巻いてください。)

開き防止バンドには表裏があります。毛羽立っている側を表にして図2のようにバックルに通します。矢印①の方向に引っ張りながら②の毛羽立っている面に張り合わせて固定します。

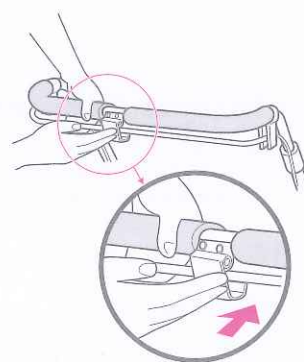
(開き防止バンドの保管) バッグの中に保管してください。または、らくらくウォーカーを使用するのに支障のない部分に固定しておく便利です。(図3)



## 7. バッグの使い方

- ブレーキをロックした状態で使います。

1 ブレーキロックをかけます。



2 座面がフタになっています。座面(フタ)を前の方から上に持ち上げます。



3 座面が倒れてきますので手で押さえながら荷物を出し入れます。座面を閉めるときは、ゆっくり手をそえて閉めます。手を離すといきおいよく閉まりますので指などはさまないようご注意ください。

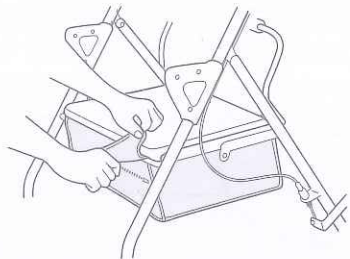




## 8. バッグのとりはずし方

- 必ずブレーキロックした状態で行います。
- バッグのとりつけは逆の手順でおこなってください。

1 前の方のファスナーを開けます。



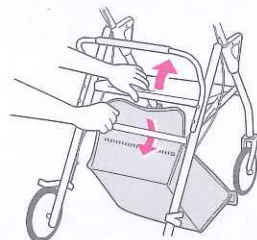
2 座面 (フタ) を上げて座面とパイプの間からはずします。



3 後の方のファスナーを開けます。



4 座面 (フタ) とパイプの間からはずします。



## 9. 日頃のお手入れの仕方

### ■保管のしかた

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に保管してください。金属部がさびて故障の原因になる恐れがあります。
- 荷物を乗せたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。故障や変形の原因になります。
- 火のそばや高温になる場所には保管しないでください。故障や変形の原因になります。

### ■清掃について

- 座面・フレームなどは、ぬれた布でホコリ・汚れを落とし、乾いた布でふいてください。
- 車輪についた泥やホコリはそのまま放置しないでください。必ず水洗いしてからふきとってください。そのままにしておきますと、スムーズに回転しなかったり、きしむことがあります。

### ■点検について

- 日頃から、ブレーキがきくか確認してください。また、ブレーキワイヤーが切れていたりブレーキのきき具合が悪いときには、ご使用をやめて、販売店またはビジョン(株)までご連絡ください。
- 日頃から、ブレーキロックがきくか確認してください。ブレーキロックをして後輪が回転しなければ正常です。きき具合が悪いときには、ご使用をやめて、販売店またはビジョン(株)までご連絡ください。
- その他、破損・故障など不具合がありましたら、すぐにご使用をやめて、販売店またはビジョン(株)までご連絡ください。

### ■バッグのお手入れ方法

- 液温は30℃を限度とし手洗いしてください。(洗たく機は使用できません。)
- ドライクリーニングはしないでください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 洗たく後は、絞らないでください。
- 干し方は日陰の平干しにしてください。

## 製品の保証について

- 1 この商品には、取扱説明書の巻末に保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 2 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店または当社ネットワークまでご連絡ください。なお、修理の際は以下のことを、お伝えください。  
①お名前、お電話番号、ご住所②商品名、お買い上げ日(保証書をごらんください)、車体番号③故障内容・異常の状態(できるだけ詳しくお願いします)
- 3 保証期間後の修理についてはお買い上げの販売店もしくは、当社ネットワークにお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 主な仕様

		内容		内容	
高さ		約81(最低時)~93(最高時)cm(6段階調節)	折り畳み時	高さ	約98cm(最低時)
	最大幅	約55cm		奥行き	34cm(最低時)
サイズ	奥行き	約77cm	前輪	直径18cmキャスター式可動	
	座面の高さ	約42cm	後輪	直径20cm	
重量		8.6kg	フレーム材質	スチールパイプ	
			フレームカラー	ラベンダーブルー	
			座面材質	ポリプロピレン樹脂	
			バッグ材質	塩化ビニール	



# 保証書

お客様	お名前	取扱販売店名・住所・電話番号
	ご住所	
電話 ( )	印	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より <b>1年間</b> (保証の規定による)	車体番号 (座面の裏にあります。)

- 本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。
- 保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
- 転居・贈答品などでお買上げの販売店に修理を依頼できない場合は、ピジョン(株)のお客様相談室へお問い合わせください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 無料修理規定

- このらくらくウォーカーの品質保証期間は、お求めの日より1ヶ年です。
- 保証期間中でも、次の場合は有料修理となります。また、パーツ(部品)の欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償修理を致しますが、お客様の責任によるものは実費修理と致します。
  - ア) 使用方法の誤り、重大な不注意、手入れ不良による場合。
  - イ) 不当な改造、仕様変更、修理による場合。
  - ウ) タイヤの磨耗および破損、ブレーキ用ワイヤー等の消耗品、バックの破れや汚れ、各部劣化による故障・損傷等の場合。
  - エ) 災害、事故などによる場合。
  - オ) 実費修理に要する運賃などの諸経費。
  - カ) 保証書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。または、字句を書き換えられた場合。ただし、上記の原因による損傷の他に、ご利用者の急激な体調の変化等、ご利用者ご自身の変化によって事故が発生した場合も、責任負担はご容赦いただきます。また、一度ご利用になった商品は、原則としてお取り替えできません。

- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買上げになった販売店、またはピジョン(株)にお問合せください。
  - ★ 保証期間経過後の修理につきましては取扱説明書をご覧ください。
  - ★ 商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更することがあります。

## 修理メモ

発売元 ピジョン株式会社  
〒103-8480  
東京都中央区日本橋久松町4-4  
(お客様相談室) TEL03(5645)1188  
受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)  
ピジョンホームページは <http://pigeon.info/>